

徳田地区タウンミーティング開催報告		
日 時	令和2年9月16日（水）19：30～21：00	
場 所	徳田公民館2階大会議室	
参加者	【地域側：15人】徳田地区自治会長、古田自治会長、高知自治会長、徳能出作自治会長、古田新出自治会長、御陣家自治会長、田滝自治会長、徳田小学校長、田滝小学校長、徳田小PTA会長、田滝小PTA会長、老人クラブ徳田支部長、徳田愛護班長、消防徳田分団長、徳田地区民生児童委員代表 【行政側：3人】市長、政策企画課長、公共施設マネジメント推進係長	
次 第	1.開会 2.徳田地区長 挨拶 3.市長挨拶・総合計画のポイントと事業説明（別添資料①） 4.テーマ「公共施設のあり方」に関する現状等説明（別添資料②）・意見交換 5.まとめ・閉会	
概 要		
徳田地区長挨拶	徳田地区のタウンミーティングは、玉井市長になって3回目となる。徳田・田滝において地域づくりを手探りしながら進めているところである。 本日のテーマは「公共施設」である。合併後多くの施設を有している西条市の今後について、有効な話し合いをしたい。	
市長事業説明	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市は今後30年間で約3万人の人口減少が予測されている。（約108,000人：2015年実績 → 約78,000人：2045年時点の人口推計値） ・上記3万人の内、多くが15歳～64歳→働く世代がいなくなることで、地域や産業の課題増が予想される。 ・「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題とした総合計画後期基本計画を策定。2045年時点の人口推計値 約85,000人を目指す！ ・優先目標を3つ設定。A)健康寿命の延伸、B)働きがいの創出・経済活力の維持、C)経営感覚のある行財政運営の実践。 ・市民・事業者の皆さん、行政がともに力を合わせて、将来世代にバトンタッチできる「持続可能な西条市」を実現しよう。 	
テーマに関する現状等	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市の公共施設は、同規模自治体の1.6倍(延床面積)あり、その半分以上が老朽化(築30年超)している。 ・公共施設マネジメントとは、施設の安全管理と財源確保を両立するための適正配置を実現することである。 ・人口減少・少子高齢化を踏まえ、今後の行政サービスにおいて、削減余地があるのは公共施設のみである。 ・建物は縮減しても機能やサービスの向上を図る「縮充」の発想で施設のあり方を見直すことが大切である。 ・市民のみなさんと情報を共有し、思いを共感し、新しい公共施設のかたちを考える共創を目指していきたい。 	
参加者の発言要旨		
<p><施設の縮充について></p> <p>公共施設の数が多いことに驚いたが、複合化して、施設数を減らすしかないと思う。 ただ、利用する施設が遠くなり、行きたくても行けない人が出てきたり、サービスが低下するようでは困る。</p> <p>今後の施設のあり方(集約・複合化等)について思い切って実行したら良いだろう。 丁寧な説明があれば、市民の理解を得られるだろう。</p> <p>公共施設の現状や財源等、様々なデータを集めているのだから、メリハリをつけて集約・複合化を実施すると良い。</p>	市の発言要旨及び対応	
	<p>公共施設を縮充することにチャレンジしていく。建物の数は減っても、市民サービスの維持・向上を図る「施設再編」となるよう汗をかきながら取り組みたい。</p> <p>そして、将来私達の子どもや孫達から評価されるよう、将来から今を見つめ、考えていきたい。 今後、個別施設ごとに方向性を決定していく中で、その都度賛否両論あるだろうが、皆さんの声をしっかりと受け止め、丁寧に説明していく。</p>	

参加者の発言要旨	市の発言要旨及び対応
<p><個別施設について> 利用率10%以下の公共施設は、統廃合を進めていくとよい。 施設の利用率が100%であるクリーンセンターややすらぎ苑には改修費等のお金を投入すべきだと考える。</p>	<p>道前クリーンセンターは、10年の延命措置を施す改良整備を行う。やすらぎ苑も建物が傷んでいるため、今後の改修等について現在調査中である。 公共施設の再編について、各施設の使用状況等のデータを分析・評価し、市民の皆さんの声も聴きながら、考えていきたい。</p>
<p><施設の集約について> 10～20年の長期計画の中で施設数の削減を考える時、どの場所(地域)に残すかという課題が出てくると思う。 例えば、総合支所や図書館は、警察署や消防署と同様に市の東西に各1箇所ずつあればよいのではないか。</p>	<p>合併後の事務を円滑に進めるため総合支所を設置したが、見直しの時期がきたと思う。 市民サービスを維持していくための方策を考えながら、総合支所のあり方を検討する。</p>
<p><市庁舎について> 旧2市2町それぞれの地域からみて同じくらいの距離となる場所に本庁を建て替えていたら、本庁の1庁舎だけで行政サービスが対応できたのではないか。</p>	<p>市民サービスを維持できるような方策を考えながら、総合支所のあり方を検討し、市民の皆さんに提案したい。</p>
<p><小学校の統廃合について> 耐用年数が経過している校舎が多いようだが、今後建て替えの計画はあるのか。児童数も減少しているので、統合になるのか不安である。</p>	<p>老朽化が進んでいる校舎は、建物の状況を踏まえ、優先順位をつけて長寿命化改修を行っていく。 地域に子どもがいる限り、学校の統廃合は、行わないと考えている。</p>
<p><田滝小学校の存続について> 児童数が少ない田滝小学校を残していただけないのはありがたい。地域に一つは小学校がないと火が消えたように感じる。 徳田・田滝小ともに児童数は減少傾向にあるが、遠隔授業等の通信教育が発達し、子ども達も変化に対応している。</p>	<p>田滝小学校では、校区外からの児童を受け入れ、地域と一緒に支え合っている。 地域づくりを進めていく上でも、このアットホームな雰囲気が理想である。</p>
<p><田滝小学校への通学支援について> 田滝小への通学手段は、壬生川方面から路線バスを利用する児童もいるが、基本的には保護者の送迎による。 交通手段について、何か施策を講じてほしい。</p>	<p>財源が限られている現状では、校区外通学への支援については、対応いたしかねる。</p>
<p><上下水道料金の統一について> 合併して何年も経過しているが、未だに旧西条地区とそれ以外の地区において格差があるように感じる。 例えば水道料金等は、いつになったら同額になるのか。</p>	<p>【後日対応：10月中旬】 上水道料金は、平成27年度から段階的に料金改定を実施しており、令和4年度の統一を目指す。 下水道料金は、3年ごとに見直し、段階的に西条処理区の使用料改定を実施しており、令和10年度に東丹処理区との使用料の統一を目指す。 なお、両事業とも人口減少に伴う使用料の減収や老朽化施設の更新等、維持管理費の増加が見込まれることから、今後の厳しい経営状況が予想される。 よって、料金統一後も必要な時期に見直しを行い、適正な料金水準に努める。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨及び対応
<p><リチウムイオン電池の処分方法について> 各家庭に配布されている「正しいごみの分け方・出し方」によると、リチウムイオン電池の処分は「販売店に引き取ってもらうように」とある。 道前クリーンセンターの火災を繰り返さないためにも、市で回収するしくみを作る予定はないのか。</p>	<p>【後日対応：10月中旬】 リチウムイオン電池は、電池同士の接触及び収集運搬、処理時の衝撃等が原因で発火する恐れがあり、全国的にもこれらが原因の火災が発生していることから、現状では、市で回収することは難しいと考えている。 市内にはリチウムイオン電池を含む充電式電池のリサイクル活動を共同で行う団体（一般社団法人JBRC）の協力店が22店舗(R2.10.9現在)あり、JBRC会員企業製のリチウムイオン電池を無料で引き取ってもらえるので、活用してほしい。 JBRC会員製品以外のリチウムイオン電池の処分については、購入店舗に相談するようお願いしているが、市でも処分方法を検討していく。</p>
<p>まとめ</p> <p><市長> より多くの市民の声を聴くことが市政の原点である。まだ十分ではないが職員と一緒に汗をかき、チャレンジしていきたい。徳田・田滝地区に住んで良かった、住み続けたいと思う人を一人でも多く作っていきたい。皆さんの声を聴きながら行政運営に努めていく。</p> <p><徳田地区長> 施設の統廃合、そして複合化等を市の方で検討していくという意見もあったが、私たち住民と密接な関係がある各施設の再編については、丁寧な説明をしていただき、住民と一緒に考えていってほしいと思う。</p>	

<当日の様子>

